

## ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る指標の推移（令和4年度）に関する意見等

| 意見No. | ページ | 指標No.     | 指標名                             | 提案委員 | 意見等内容  | 担当各課（室）        | 担当課回答  |
|-------|-----|-----------|---------------------------------|------|--|----------------|--|
| ①     | 1   | 基盤施策<br>1 | 「多様性を理解した社会づくりが進んでいる」と回答した県民の割合 | 齊藤委員 | 全体の実績値が「29.8%」と低く止まっているが、年代別にみると最も低い70代以上でも31.6%となっているのはなぜであるのか。また、年代別の結果より若い世代ほど実績値が高く、年代が上がるにつれて低くなっていると読み取ることができるが、その理由から今後の見通しや課題となることがわかれば報告してほしい。  | 生活環境部<br>男女共生課 | 【男女共生課回答】<br>前回記載した数字を訂正します。<br>10～20代 36.4%<br>30～40代 26.6%<br>50～60代 2.9%<br><br>全世代に向け、多様性社会形成セミナーやユニバーサルデザイン体験学習会などを通して意識の醸成を図ってまいります。   |
| ②     | 1   | 基盤施策<br>3 | 個別の教育支援計画の引継ぎ率                  | 岡崎委員 | 卒業、入学、進学等、環境の変化に対応することが苦手な障がい者にとって、できるだけ混乱することが無く新しい環境に対応するためにも、引継ぎが大切なため丁寧な引継ぎをお願いいたします。  | 教育庁<br>特別支援教育課 | 【教育庁回答】<br><br>様々な機会に個別の教育支援計画の作成への呼びかけを継続的に行うことで、特別支援学級や通級による指導を受けている児童生徒の個別の教育支援計画の作成率は、ほぼ100%となっています。今後も取組事例等を示しながら作成を促し支援を行います。<br>また、作成段階での保護者及び本人参画、また十分な説明を行いながら、引継ぎで活用する必要性や有効性についての理解を高めるとともに、ケース会議等での活用等の具体的な方法も周知し、作成後の活用と引継ぎ率の向上を図ります。 |
| ③     | 2   | 基盤施策<br>8 | 避難行動要支援者個別避難計画策定市町村数            | 岡崎委員 | 令和4年度の実績が33市町村となっておりますが、冊子「ふくしまユニバーサルデザイン推進計画」のP29 No.8策定市町村数39となっております。違いの理由は何でしょうか。また、避難行動要支援者の個別避難支援計画の策定について各市町村への働き掛けも大事ですが、今後各市町村内の対象者について個別避難計画がどれくらい進んでいるかが大切だと思います。可能ならその調査もお願いいたします。例：対象者●人、計画策定●人●%など。時間がかかるかもしれませんが、一人も取り残さない計画を目指すことが大切だと思いますので、各自治体への声掛けをお願いいたします。 | 危機管理部<br>災害対策課 | 【危機管理部回答】<br><br>策定市町村数については、令和2年度時点で39でしたが、令和3年5月の法改正により個別避難計画の定義が明確化されたことで、複数市町村で策定状況の見直しを行ったことが主な理由です。<br><br>対象者数や計画作成の進捗率は、国調査等を通して全市町村の状況を把握しています。現在は、作成済を含む全市町村へのフォローアップ研修や、未作成市町村に対するオンラインサロン又は訪問による助言など、各進捗状況に応じた伴走型支援に取り組んでいます。          |

## ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る指標の推移（令和4年度）に関する意見等

| 意見No. | ページ | 指標No.      | 指標名                       | 提案委員 | 意見等内容  | 担当各課（室）         | 担当課回答  |
|-------|-----|------------|---------------------------|------|--|-----------------|--|
| ④     | 4   | 基盤施策<br>16 | 民間企業における障がい者<br>実雇用率      | 岡崎委員 | 自治体の障害者雇用率の実績についてはどうなっていますか。県及び市町村の実態も教えていただきたい。また、代理雇用という仕組みで会社などから委託を受けている事業所があると聞いていますが、県内の状況はどうなっていますか。  | 商工労働部<br>雇用労政課  | 【商工労働部回答】<br><br>福島労働局の発表では、令和4年6月1日時点の障害者雇用率は、福島県知事部局等で2.67%、福島県教育委員会で1.89%、市町村等で2.23%となっております。また、代理雇用、いわゆる障害者雇用ビジネスについては、福島労働局へ確認し、実態の把握に努めていく旨の回答を得ています。  |
| ⑤     | 5   | 実践施策<br>1  | 県営住宅のバリアフリー化<br>率         | 齊藤委員 | （土木部の記載について昨年度と同様の指摘になりますが）UDの推進に向けた取り組み状況についてわかりやすい、評価・点検可能な記述をお願いしたいです。わずかながらの実績値の上昇でも「計画に基づいて推進していて問題ない」ということであれば、どのように推進したのか（事業を進めたのか）がわかるようになってほしいです。資料2で具体的な概要・実績を把握することができますが、6頁No.7のエレベータ設置事業のような簡単な記述があるだけでも説明になると思います。 | 土木部<br>建築住宅課    | 【土木部回答】<br><br>「指標がこのような推移した要因」を以下のとおり修正します。<br><br>県営住宅の内部改善事業アクションプログラムの年次計画に基づき、R4年度の予算を計上した。<br>工事については、入居者への説明会を開催し、理解を得られたので実施することができ、バリアフリー化率の向上につながった。   |
| ⑥     | 5   | 実践施策<br>2  | やさしさマーク交付件数<br>(累計)       | 齊藤委員 | 今後あまり見込むことができない公益的施設の新築だけを対象とするのであれば、目標値が高すぎるのではないかと。目標値を設定した背景・根拠を確認のうえ、既存施設を対象とすることができる・できないについても検討する必要があると思う。   | 保健福祉部<br>障がい福祉課 | 【保健福祉部回答】<br><br>条例制定時から20年間の交付件数の平均が17件/年間であったこと、当時は年間件数が30件を超える年があったことから高い目標値となっております。意見にあるとおり、公益的施設の新築だけを対象とした場合、近年の交付件数年間2～3件では達成できない目標であります。今後は関係機関と連携して様々な機会を捉えて制度の普及啓発を図ってまいります。その上で既存施設を対象とすることができるかできないかについても検討してまいります。 |
| ⑦     | 5   | 実践施策<br>3  | おもいやり駐車場利用制度<br>協力施設数（累計） | 齊藤委員 | 新たに協力を得ることができた施設と同じ数だけ廃止した施設があったことについて、その理由から課題を考察してほしいです。   | 保健福祉部<br>障がい福祉課 | 【保健福祉部回答】<br><br>厳しい社会情勢により店舗の統廃合が進んでいることなどが、施設数の減につながる要因の一つとなっていると思われます。<br>必要な駐車場が確保できるよう、制度の周知に努め、新設される施設や既存の未協力施設に対して、制度への協力を継続して呼びかけてまいります。   |

## ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る指標の推移（令和4年度）に関する意見等

| 意見No. | ページ | 指標No.     | 指標名                       | 提案委員 | 意見等内容     | 担当各課（室）                  | 担当課回答  |
|-------|-----|-----------|---------------------------|------|-----------|--------------------------|--|
| ⑧     | 5   | 実践施策<br>4 | 市街地等における無電柱化<br>整備率       | 齊藤委員 | 意見No.⑤と同様 | 土木部<br>道路整備課<br>まちづくり推進課 | 【土木部回答】<br>下線部を追記します。<br>福島県無電柱化推進計画に基づき、電線地中化の<br>整備を進めており、令和4年度は0.58kmを整<br>備した。 |
| ⑨     | 5   | 実践施策<br>5 | ユニバーサルデザインに配<br>慮した歩道の整備率 | 齊藤委員 | 意見No.⑤と同様 | 土木部<br>道路整備課<br>まちづくり推進課 | 【土木部回答】<br>下線部を追記します。<br>やさしい道づくり推進事業全体計画に沿って歩道<br>の整備を進めており、令和4年度は40.0mを整<br>備した。 |